			令和	7年度	東東	京都立	足立特	別支持	爰学校	年間指導	計画		
	高等部	等部 普通科 学年		年	年 3年		学習ク	゛ループ	重度・重複(3人)	教科等名		家庭	
年間	間授業時数	使用教室			家庭科室				調理室	使用教科書			
	日・校時	水曜日	3時間目	(10:35∼	11:25)	MT	蓮沼	淳子	ST	奥山涼夏 竹	内祐 吉村	村秀俊 津田友政	女 宇田川良行
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	旦当教員 	水曜日	4時間目	(11:30~	12:20)	MT	蓮沼	淳子	ST	奥山涼夏 竹	内祐 吉林	寸秀俊 津田友區	女 山本弘美
ね	明るく豊かな家庭												
ら (2)	(2) 家庭生活で使用する道具や器具の正しい使い方が分かり、社会人としての資質を養う。												
` '	被服、食物、消費	骨生活に関	する実	· · · –	して、多			技能を習	習得する	0		T	
学期	単元名		月	時数	311711		習内容	24	当田 7田 6	ねらい 室の使い方を復	133 - 1 7		手だて 方の動画を使用す
	<調理学習 オリエンテー:		4	8	,则生	主々 グー		737	・調理i 習をする	首具の名前や使	eョッる。 ごい方の復	る。 • 実際に道具を	使っている動画等 に付けやすくす
1	<調理学習 日常食を作		5	8	・調理 日常	実習 食作り			を使った	た調理ができる を安全に使用し) 0	に調理器具の使 る。	
1 学 期	<調理学習 日常食を作っ		6	4	・調理 日常	実習 食作り			を使った	トプレートや電 た調理ができる を安全に使用し る。	00	に調理器具の使 る。	
	<調理学習 日常食を作		7	4	・調理郷土	実習 料理を作	乍ろう		を使った		00	に支援する。	を具体的に視覚的 用し、修学旅行先の るようにする。
	く被服学習 オリエンテー:		9	8	・家庭 ン ・手芸		リエン テ	ーショ	る。 ・道具の る。 ・活動の	科室の使い方を の名前や使い方 の流れを理解して て製作をする。	で 確認す	の扱い方や用意などを復習する・ICT機器を活り・ICT機器を活り	見し、手芸の手順や ようにする。
2 学	<被服学習 生活に役立つ物?		10	2	・手芸				・道具の に使用。 ・活動の		し、安全	全に活動が進める。 ・教員が作った の見通しがもて	
期	<被服学習 生活に役立つ物で		11	8	・小物	作り			・道具の に使用で ・活動の		は、安全	全に活動が進める。	所等に留意し、安 られるようにす 見本を見て、製作 るようにする。
		<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう		6	・小物	作り			・道具の に使用で ・活動の		とし、安全 、見通し	全に活動が進める。	所等に留意し、安 られるようにす 見本を見て、製作 るようにする。
	<家庭生活 衣装の整理		1	6	・衣服	の扱い			り、取り	ルや服を洗濯し り込んできれい ることができる	にたたん	・示範を分かりを重ねる。	やすく示し、練習
3 学 期	<消費生活		2	8	・くら	しとお会	定					・ワークシート の流れを捉えや	等を用いて、授業 すくする。
	<調理実習	¹ >	3	6	・調理郷土	実習 料理を作	乍ろう		を使った	た調理ができる を安全に使用し	00	に支援する。	を具体的に視覚的 用し、郷土料理が分 。

			令和	7 年度	東京	京都立	足立物	护别支持	爰学校	年間指導	計画		
	学部	高等部	普通科	学年		3年 学		学習ク	ブループ	A1(7人)	教科等名	家庭	
	54 使用教室			5///	家庭科雪	Ē		調理室	使用教科書	くらしに役立つ家庭	(東洋館出版)		
	曜日•校時	水曜日	3時間目	(10:35~	~11:25)	MT	蓮沼	淳子	ST	奥山涼夏 竹	内 吉村	津田 池田光希	
	担当教員	水曜日	4時間目	(11:30~	~12:20)	MT	蓮沼	淳子	ST	奥山涼夏 竹	内 吉村	津田 山本弘美	
ね	(1) 明るく豊かな家庭	医生活を営	む上で	必要な	能力を高	事め、実	践的な	態度を与	身に付け	る。			
らい	(2) 家庭生活で使用す	トる道具や	器具の	正しい	使い方だ	が分かり	、社会	人として	ての資質	を養う。			
,	(3) 被服、食物、消費	貴生活に関	する実	習を通	して、須	実践的な	知識と	技能を習	習得する	0			
学期	単元名		月	時数		主な学				ねらい		手だて	
	<調理学習 オリエンテー		4	4	・調理	室オリコ	ニンテー	-ション		室の使い方を復 道具の名前や使 る。	夏習する。 夏い方の復	・調理室の使い方のる。・実際に道具を使っを活用して、身に付る。	ている動画等
1 学	<調理学習 日常食を作		5	8	日常	理実習 常食作り			を使って	た調理ができる を安全に使用し		・正しい調理用具の して、繰り返し伝え ・集中できる環境を	の説明をす 使い方を提示 る。 設定する。
期		<調理学習> 日常食を作ろう		4	・調理	実習 食作り			を使った	トプレートや電 た調理ができる を安全に使用し る。) 。	に調理器具の使い方	の説明をす 使い方を提示 る。
		<調理学習> 日常食を作ろう		2	•調理	実習 料理を作	手ろう		を使って) 。	・使用の注意点を具に支援する。 ・ICT機器を活用し、 郷土料理が分かるよ	修学旅行先の
	<被服学習 オリエンテー		9	6	・家庭 ン ・手芸	科室才!	エンテ	ーショ	る。 ・道具の る。 ・活動の	科室の使い方を の名前や使い方 の流れを理解し て製作をする。	で確認す	・ICT機器を活用し、	方、片付け方 手芸の手順や
2 学	<被服学習 生活に役立つ物		10	4	・手芸				・道具の に使用。 ・活動の		し、安全 、見通し	・道具の置き場所等 全に活動が進められる。 ・教員が作った見本 の見通しがもてるよ	るようにす を見て、製作 うにする。
期	<被服学習 生活に役立つ物		11	8	・小物	作り			・道具の に使用。 ・活動の		とし、安全 、見通し	・道具の置き場所等 全に活動が進められる。 ・教員が作った見本 の見通しがもてるよ	るようにす を見て、製作
		<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう		4	・小物	作り	9		・道具の に使用。 ・活動の	を意識して活動する。 の使い方を確認し、安全 する。 の流れを理解し、見通し て製作をする。		・道具の置き場所等全に活動が進められる。 ・教員が作った見本の見通しがもてるよ	るようにす を見て、製作
	<家庭生活 衣装の整		1	6	衣服の	扱い			り、取	ルや服を洗濯し り込んできれい ることができる	いにたたん	・示範を分かりやすを重ねる。	く示し、練習
3 学 期	<消費生活	-	2	6	くらし	とお金						・ワークシート等を の流れを捉えやすく	
	<調理実習	3>	3	2	・調理	実習 料理を作	手ろう		を使って	た調理ができる を安全に使用し) _o	・使用の注意点を具 に支援する。 ・ICT機器を活用し、 かるようにする。	

大学・ディーン 4				令和	7年度	東京	マ都立 /	足立特	別支担	受学校	年間指導詞	計画			
選出・横海		学部	高等部	普通科	学年		3年 学習		学習ク	゛ループ	A23(15人)	教科等名	家庭		
1		年間授業時数 54				54 使用教室			Š		調理室	使用教科書	くらしに役立つ家庭 (東洋館出版)		
1			3時間目	(10:35~	~11:25)	MT	MT 蓮沼淳子			奥山涼夏、藤澤由香、山本圭子					
2		担当教員 	火曜日	4時間目	(11:30~	~12:20)	MT	蓮沼	淳子	ST	奥山涼夏、藤	澤由香、口	山本圭子		
2 2 家庭生活で使用する選択を審決の正しい使い方がわかり、社会人としての資産を表す。 1	ね	(1) 明るく豊かな家原	庭生活を営	営む上で	必要な	能力を高	高め、実	践的な創	態度を言	育てる。					
1 2 2 2 2 3 2 3 3 3 3	6	(2) 家庭生活で使用する道具や器具の正しい使い方がわかり、社会人としての資質を養う。													
「	·	(3) 被服、食物、消费	費生活に関	骨する実	習を通	して、多	実践的な	:知識と	技能を習	習得する	0		<u> </u>		
・	学期	単元名		月	時数								• • - •		
日常女作与 1				4	4	• 調理	室オリコ	エンテー	ション	• 調理	室の道具の名前	習する。 行や使い方	る。 ・プリント学習を通して、調理用		
別	1 学			5	8	日常				ができる。 ・火加液 ができる。 て作る。	る。 域を調整しなか る。 こ集中して、手	ぶら、調理 ⊆指を使っ	に調理器具の使い方の説明をする。 ・正しい調理用具の使い方を提示して、繰り返し伝える。 ・集中できる環境を設定する。		
名	期				4					ができる ・火加液 ができる ・手元!	る。 咸を調整しなが る。 こ集中して、手	ぶら、調理	に調理器具の使い方の説明をする。 ・正しい調理用具の使い方を提示して、繰り返し伝える。		
2					2)		る。 ・電子! きる。 ・火加》	レンジを使った	-調理がで	・ICT機器を活用し、手順が視覚的		
全括に役立つ物を作ろう 10 4				9	6	ン		リエンテ	ーショ	る。 ・道具の る。 ・作り	の名前や使い方 方の手順書を見	方を確認す	・ICT機器を活用し、手芸の手順や		
大学がに対している。	2 学				4					道具を ・作り 内容を ・製作	を安全に使用す 方の手順書を見 理解する。	-る。 して、活動	・教員が作った作品を見て、完成のイメージをもつ。 ・工程ごとの段階見本を見て、作り方の見通しをもつ。		
2 4 ・道具を安全に使用する。 ・教員が作った作品を見て、完	期					• 小物·	作り			・道具を ・作りた 内容を ・製作	を安全に使用す 方の手順書を見 理解する。	⁻ る。 して、活動	・工程ごとの段階見本を見て、作		
***						・小物作り				・道具を安全に使用する。 ・作り方の手順書を見て、活動 内容を理解する。 ・ミシンの工程を繰り返しでき			・工程ごとの段階見本を見て、作		
3 学期 ・関連を図った物資・サービ 適切に購入する能力を身に付け の流れを捉えやすくする。 3 ・関連を図った物資・サービ 適切に購入する能力を身に付け る。 5 ・一人で調理できる料理を扱 や調理法について考える。				1	6			ţ		覚える。 ・きれい	ハに衣服をたた		す。 ・衣服の表示を見ながら、アイロンの温度設定の違いにも着目す		
<調理実習> や調理法について考える。	学	<消費生剂	<消費生活>		6	・関連			サービ	適切に則					
3 2 ・		<調理実	岁>	3	2	・卒業	に向けて				で調理できる彩	理を扱	・調理に使われている食材の特徴や調理法について考える。・栄養についてもふれる。		

			令和	7年度	東京	(都立)	足立特.	別支捷	爱学校	年間指導語	十画	
	学部	高等部	普通科	学	年 3年		学習ク	ブループ	A4(7人)	教科等名	家庭	
年間	間授業時数	54 使用教室				家庭科室			調理室	使用教科書	くらしに役立つ家庭(東洋館出版)	
	日•校時	金曜日	5時間目	(13:15~	~14:05)	MT	蓮沼	淳子	ST	奥山涼夏		
Ŧ.	旦当教員 	金曜日	6時間目	(14:10~	~15:00)	MT	蓮沼	淳子	ST	奥山涼夏		
ね (1)	明るく豊かな家庭									- 0		
ら (2)	家庭生活で使用す											
	被服、食物、消費	骨生活に関	引する実 		して、乳			支能を	習得する 	0		T .
学期	単元名		月	時数	311711		習内容	2 () (当田 七田 乍	ねらい 室の使い方を復	133 - 1 7	手だて・調理室の使い方の動画を使用す
	<調理学習 オリエンテー:		4	4	,则任	主々 グー		<i>7</i>	・調理を復習った復習った。	室の道具の名前	きょう。	
1	<調理学習 日常食を作		5	8	• 調理 日常	実習 食作り			ができる ・火加液 ができる	る。 咸を調整しなが る。 こ集中して、手	ら、調理	・正しい調理用具の使い方を提示
1 学 期	<調理学習 日常食を作		6	4	・調理日常	実習 食作り			ができる ・火加液 ができる ・手元!	域を調整しながる。 こ集中して、手	ら、調理	に調理器具の使い方の説明をする。 ・正しい調理用具の使い方を提示して、繰り返し伝える。
		<調理学習> 日常食を作ろう		2	・調理郷土	実習 料理作り)		る。 ・電子! きる。	コを使った調理 レンジを使った 域を調整しなが	調理がで	・集中できる環境を設定する。 ・コンロの注意点を具体的に視覚 的に支援する。 ・ICT機器を活用し、手順が視覚的 に分かるようにする。
	<被服学習 オリエンテー:		9	6	ン ・手芸		リエンテ	ーショ	る。 ・道具の る。 ・作りた 内容を理	理解する。	を確認すて、活動	・ICT機器を活用し、手芸の手順や 見通しがもてるようにする。
2 学	<被服学習 生活に役立つ物:		10	4	・手芸				・道具 ・作り 内容を ・製作 かす。	理解する。 したものを日常	る。 て、活動 生活に生	・道具の置き場所等に留意する。 ・教員が作った作品を見て、完成 のイメージをもつ。 ・工程ごとの段階見本を見て、作 り方の見通しをもつ。
期	<被服学習 生活に役立つ物:		11	8	・小物	作り			・道具 ・作り 内容を理	里解する。	うる。 て、活動	・道具の置き場所等に留意する。 ・教員が作った作品を見て、完成 のイメージをもつ。 ・工程ごとの段階見本を見て、作 り方の見通しをもつ。
		<被服学習> 生活に役立つ物を作ろう		4	・小物	作り			・道具る ・作りた 内容を理	里解する。	る。 て、活動	・道具の置き場所等に注意する。 ・教員が作った作品を見て、完成 のイメージをもつ。 ・工程ごとの段階見本を見て、作 り方の見通しをもつ。
	<家庭生活 衣装の整		1	6		ロンがり たたみ	,		覚える。 ・きれい できる。	いに衣服をたた	むことが	す。 ・衣服の表示を見ながら、アイロンの温度設定の違いにも着目する。
3 学 期	<消費生活	<消費生活>		6		な消費? を図っ <i>†</i>		サービ				・ワークシート等を用いて、授業の流れを捉えやすくする。
	<調理実習	3>	3	2	卒業	に向けて	<u> </u>		・一人 [*] う。	で調理できる料	理を扱	・調理に使われている食材の特徴 や調理法について考える。 ・栄養についてもふれる。

				令和	7年度	東東	京都立	足立特別支	援学校	年間指導詞	計画					
		学部	高等部	普通科	学年		3:	3年 学習ク		^デ ループ B1B2(12人) 教科等		家庭				
	年間	授業時数	30	0	使用教室			調理室		家庭科室	使用教科書	くらしに役立つ家庭(東洋館出版)				
		・校時	木曜日	5校時	(13:15~	14:05)	MT	蓮沼淳子	ST	藤澤由佳						
	担	当教員	木曜日	6校時	(14:10~	15:00)	MT	蓮沼淳子	ST	藤澤由佳						
ね	(1)	明るく豊かな日常	学生活に必	活に必要な能力を高める。												
らい	(2)	社会生活に必要な	おされ	体験を増	やし、	社会人。	としての	資質を養う。								
	(3)	実習や実践を通し	て、実践	態的な態	度を養	う。						T				
学其	明	単元名		月	時数	⇒ □ ≈ □ 1.		習内容		ねらい	7 - 1 1-	手だて				
		<調理学習 オリエンテー:		4	2		と調理	デーション	よって	分の献立を考え 、栄養バランス 摂る大切さを知	のとれた	・献立をたてるうえで、大切なポイントをおさえる。 ・各自の端末で、主菜・副菜の候補を考え、友達の発表も聞く中でより良い形を考えられるようにする。				
1				5	0											
学期		<調理学習 日常食を作。 (一品料理	ろう	6	4	•調理季節		を使った料理		の食材を知り、て、調理する。	旬の食材	・調理をする際の注意点を具体的に視覚的に支援する。 ・ICT機器を活用し、手順が視覚的に分かるようにする。				
		<調理学習> 日常食を作ろう (一品料理)		7	2	• 調理季節		を使った料理		の食材を知り、て、調理する。	旬の食材	・調理をする際の注意点を具体的に視覚的に支援する。 ・ICT機器を活用し、手順が視覚的に分かるようにする。				
		<被服学習 オリエンテー:		9	4	・生活	に役立へ	つ小物作り	・道具 ・製作 かす。	を意識して活動 を安全に使用す したものを目常 ンの安全な操作	「る。 『生活に生	・教員が作った作品を見て、完成のイメージをもつ。 ・工程ごとの段階見本を見て、作り方の見通しをもつ。				
2		<被服学習 製作活動		10	2	・生活	に役立へ	つ小物作り	・道具 ・製作 かす。	を意識して活動 を安全に使用す したものを日常 ンの安全な操作	る。	・教員が作った作品を見て、完成のイメージをもつ。 ・工程ごとの段階見本を見て、作り方の見通しをもつ。				
2 学 期		<調理学習 日常食を作; (一品料理	ろう	11	4	・調理大阪	実習 の郷土料	料理		旅行で行く大阪 り、調理をする		・調理をする際の注意点を具体的に視覚的に支援する。 ・ICT機器を活用し、手順が視覚的に分かるようにする。				
		<被服学習 製作活動		12	2	ン		リエンテーショ つ小物作り	手元を意識して活動する。道具を安全に使用する。製作したものを日常生活に生かす。ミシンの安全な操作ができる。			・教員が作った作品を見て、完成のイメージをもつ。 ・工程ごとの段階見本を見て、作り方の見通しをもつ。				
		<家庭生活 衣装の整理		1	4	・衣服	の扱い		・適切る。	に衣服を扱うこ	とができ	・衣服の表示を見ながら、アイロンの温度設定の違いに着目できるようにする。 ・ワークシート等を用いて、授業の流れを捉えやすくする。				
3 学 期	<家庭生活 消費生活		2	4	・消費	生活につ	ついて		の意味を理解し の自覚をもつ。	、消費者	・金融教育アドバイザーによる講座と関連の授業で理解を深める。 ・ワークシート等を用いて、授業 の流れを捉えやすくする。					
	<家庭生活 環境学習		3	2	• SDG s	; につい	· T	・環境考える。		たついて	・環境関連の動画の視聴等を通し 生活の中で大切なことを具体的に 考えられるようにする。					
		 	I													